

議事録名：介護・医療連携推進会議			
日 時	平成 28 年 6 月 18 日（土）13:30～14:30	議事録	6 月 18 日
場 所	潤生園れんげの里 1 階 研修室		書記：I
出席者	<input type="checkbox"/> A 様（民生委員児童員委員協議会・東富水地区会長） <input type="checkbox"/> B 様（小田原医師会 介護保険・訪問診療担当） <input type="checkbox"/> C 様（第三地区地域包括支援センター） <input type="checkbox"/> D 様（小田原医師会訪問看護ステーション管理者） <input type="checkbox"/> E 様（潤生園訪問看護ステーション管理者） <input type="checkbox"/> F（社会福祉法人小田原福祉会 常務理事） <input type="checkbox"/> G（潤生園訪問サービスセンター センター長） <input type="checkbox"/> H（潤生園訪問サービスセンター 所長） <input type="checkbox"/> I（潤生園訪問サービスセンター 計画作成担当者）		<input type="checkbox"/> 出席、 <input checked="" type="checkbox"/> 欠席
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者名簿 ・平成 28 年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 稼働実績表 ・介護保険関連の最新動向について 		以上、当日配付
<p style="text-align: center;">議題及び議事内容</p> <p>1、開会挨拶 管理者：Hより開会の挨拶を行う。</p> <p>2、出席者の紹介 参加者全員の自己紹介を行う。</p> <p>3、平成 28 年度 運営状況報告 別紙資料（稼働実績表）と共に利用者数の変動状況について報告する。 4 月より東部ホームヘルプサービスを開設した。それに伴い、西部・東部でエリアを分担したことで西部から東部に移ったご利用者・職員がいる。4 月に終結になった 4 名は東部に移ったご利用者。 5 月の終結者は喘息で入院され、入所となった。 4 月より常勤職員を 1 名増員し、ご利用者を受け入れる体制をつくっている。</p> <p>4、利用者の状況報告 定期巡回のご利用者で変化について。 ・ALS のご利用者、在宅で生活をしていたが嚥下が困難になり、入院した。今後、在宅に戻ることは難しいとの事。 ・訪問時、玄関に倒れていた。救急搬送し、大腿骨骨折との事。現在、在宅復帰を目標にリハビリを行っている。</p>			<p style="text-align: center;">議決事項</p>

- ・認知症の夫婦、老々介護で生活していたが、夫からの DV によりれんげの里ショートステイを緊急利用する。奥様は入所。旦那様は定期巡回・ショートステイを利用し在宅で生活する予定。
- ・訪問介護から定期巡回に移行するご利用者がいる。利用料金や単位数オーバーなどの関係で定期巡回を利用していなかったが便汚染などで皮膚状態が悪い為、定期巡回を利用しケアをすることが望ましいとの事で利用につながった。

終結になるご利用者もいるが新規の依頼も多くあるので受け入れていく。

5、出席者からの感想や質問

民生委員 A様

民生委員をやっていて、寝たきりの方が少なくなったと感じている。こういう施設多くできているからなのだと思う。

今年の敬老祭は小田原アリーナで行うが、れんげの里や他の施設で行うことで参加者は増え、地域との関わりも良くなると思う。

訪問サービスセンター Gセンター長

東部の稼働はどうですか？

訪問サービスセンター H所長

新規の依頼はあるが、依頼の時点で体調が悪く、初回訪問で亡くなった方が1名と利用開始1週間で終結になった方がいた。

小田原医師会 B様

病院の立場と介護の立場でまだ違いがあり、医療と介護の連携はお互いのことを理解しないとまだまだ難しい部分がある。

6、その他

- ・H所長より介護保険関連の最新動向について別紙資料と共に説明あり。
- ・ヘルパーで喀痰吸引の研修を受けている。ヘルパーの出来る幅を増やしていく。実地研修の際は各関係者の方はよろしくお願いします。

次回開催予定

平成28年8月20日(土) 13:30~14:30 れんげの里 研修室

回 覧

理事長	常務理事	経営本部	施設長・部長	課長・係長・主任